

—イマジネーション豊かな色彩、わくわくするほど多様なヴィブラート。  
今後聴き逃すべきでない演奏家であることは、一聴瞭然。(ストラド誌)



## ティモシー・リダウト (ヴィオラ) Timothy Ridout, Viola

1995年ロンドン生まれ。王立音楽院にてマーティン・アウトラムに師事、卒業時に英国女王賞を授与される。現在はクロンベルグ・アカデミー(独)にて今井信子に師事、アントワン・タメスティヤやタベア・ツィンマーマンのクラスでも研鑽を積んでいる。

2014年セシル・アルノヴィッツ国際ヴィオラコンクール1位、2015年ウィンザー祝祭国際弦楽コンクール第2位受賞の後、2016年ライオネル・ターティス国際ヴィオラ・コンクールにて初のイギリス人優勝者に輝き、英国の有望な新人演奏家を対象としたプログラム YCAT (Young Classical Artists Trust) の代表に選ばれる。

これまでにウィグモア・ホール、ブライトン・フェスティバル(ロンドン)、ガスタイク・センター(ミュンヘン)、ヴェルビエ音楽祭(ヴェルビエ)、ベートーヴェン音楽祭(ボン)等に招かれて出演。

2017~18年にかけてはラインラント=プファルツ州立フィル、バーデン=バーデン・フィル、ロンドン・モーツァルト・プレイヤーズ、シンフォニア・カムリ等にソリストとして招かれる他、ウィグモア・ホール

への出演、また日本、イタリア、イスラエル、ノルウェー、フランス、オーストリア、スイスと各国に招かれ演奏を行う。

これまでにアナ・チュマチェンコ、マキシム・ヴェンゲーロフ、ローレンス・パワー、タベア・ツィンマーマン、ステイーヴン・イッサーリス、フランス・ヘルメルソン等と共演を重ねる他、ザグレブ室内合奏団、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団、ヨーロッパ連合室内管弦楽団、オックスフォード・フィルハーモニー管弦楽団などにソリストとして招かれる他、室内楽奏者としても高く評価されており、「キッシンゲンの夏」音楽祭やシュヴァルツェンベルク音楽祭、パート・ラガッツ次世代音楽祭などにも招かれる。

2017年にはヴェータンの作品を収めたデビューCDをチャンプス・ヒル社よりリリース、絶賛を博す。

アマリリス・フレミング財団及びボウエルマン公益財団奨学生。Beares 国際ヴァイオリン協会より、Peregerino di Zanetto (c1565-75) が貸与されている。

■交通アクセス  
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

  
**宗次ホール**  
Munetsugu Hall

名古屋市中央区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00~16:00  
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

**宗次フレンズ 会員募集中!!**

宗次ホールは  
会員登録していただいた方に毎月無料で  
新作チラシをご自宅にお届けします。

**会員登録・年会費 無料**

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。